

平成30年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
胃がん部会 概要

- 1 日 時：平成31年2月1日(金) 14:00～15:30
- 2 場 所：岐阜県庁7北1会議室
- 3 出席者：

	氏名	所属
委 員	吉田 和弘	岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学分野教授
	後藤 裕夫	岐阜赤十字病院放射線科部長
	鳥澤 英紀	岐阜県医師会 常務理事
	末松 太	中濃厚生病院 診療放射線技師
	吉田 万祐子	市町村保健活動推進協議会保健師部会(安八町)
オブザーバー	氏平 高敏	飛騨保健所 所長
事務局	稲葉 静代	次長兼保健医療課長
	赤尾 典子	健康推進室長
	井上 玲子	技術課長補佐兼係長
	横山 ひろみ	技術主査
	小寺 貴也	主事

4 内 容：

- 報告：1 平成29年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会胃がん部会議事
議事：2 岐阜県のがんの現状等

- ・院内がん登録の結果から、全国と比べて胃がんのステージⅠ期で初回登録となった者の割合が低く、Ⅲ期以降に登録された者の割合が高い。定期的な検診受診をしていなかったり、有症状時の受診の遅れが推察されるため、周知・啓発を徹底する。
- 3 市町村が実施する胃がん検診の精度管理について
- (1) 正しいがん検診の実施
 - ・一部の市町村で指針に基づかないABC検診を実施しているため、対策型検診では推奨されていない旨を通知する。
 - ・胃内視鏡検診に取り組む市町村は少しずつ増加。未実施市町村の課題は医療機関の確保等、体制整備にかかる事項のため、関係機関への課題の周知、解決に向けた検討等を進める。
 - (2) がん検診マネジメント
 - ・市町村、検診機関とも、がん検診の「事業評価のためのチェックリスト」の実施率を高める必要がある。
 - ・一部の検診機関で、胃部レントゲン検査の二重読影や比較読影が実施されていない。また、胃部レントゲン検査を行う撮影技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していること

が推奨されているが、当該技師を未設置の検診機関がある。体制整備に努めていただくよう部会からも通知する。

(3) がん検診の受診率向上対策

- ・がん検診受診者数を増加させる。また、各市町村ごとに受診者の特性を明らかにし、初回受診者やリピーターの獲得に努めていく。
- ・「清流の国ぎふ健康ポイント事業」等の周知、活用により、県民のがん検診への関心を高め、受診を促していく。

⇒上記等について、市町村及び検診機関に通知を行う。